

世界腎臓デーによせて 沖縄県慢性腎臓病対策協議会が発足しました

琉球大学病院 血液浄化療法部 古波蔵 健太郎



世界腎臓学会では毎年3月の第2木曜日を世界腎臓デーとして各国で啓発活動を展開しています。最新の検討によると、わが国においては、2,000万人の慢性腎臓病（CKD）患者がおり、5人に1人がCKDであるという実態が明らかになっています。

そのため沖縄県は人口比当たりの腎臓専門医が比較的多いもののCKD診療を専門医だけで対応することは困難です。透析導入の抑制、ひいては県民の健康寿命延伸のためには、最も身近な医療者であるかかりつけ医が、早期から“腎”を意識し、重症化を予防する体制が求められます（「腎生」100年時代へ地域一丸で取り組む重要性（古波蔵健太郎、沖縄県医師会雑誌2023）、という視点はますます重要になっています）。

全てのCKD患者に切れ目なく的確なアプローチを行うには、日常診療の入口となるかかりつけ医の役割が極めて重要です。厚生労働省は、地域で必要な医療を確保する医療提供体制改革の一環として、かかりつけ医機能の可視化と充実を進めており、医療機能情報の提供の見直しとあわせてかかりつけ医機能報告制度等を通じ、地域を基盤とした医療提供体制の強化を目指しています。

さらに、患者の状態に応じて専門医・病院への適切な紹介（紹介）と、治療方針決定後のかかりつけ医への受け渡し（逆紹介）を円滑に行うことで、機能分化と連携に基づく切れ目のない医療提供体制を構築することができます。

昨年日本内科学会誌において「かかりつけ医」特集が組まれました。かかりつけ医におけるCKD診療の質を担保する鍵は、

- ①多疾患併存（マルチモビディティ）状態であることが多いCKDの体系的な病態把握、
- ②“病い”の理解（心理的、社会的、医療費負担や家族・仕事・介護など多面的な視点）、
- ③協働（かかりつけ医、腎専門医、看護師、薬剤師、栄養士、保健師、MSW等、からなるチーム医療）、
- ④調整（紹介・逆紹介、腎代替療法導入前後の支援）

を、属人技ではなく“仕組み”にすることが重要だと考えられます。

専門性が高い腎臓病診療において、適時、的確に地域の腎専門医と連携し、担当する地域の患者により質の高い、腎臓専門治療が届けられるように仕組みを構築していく必要があります。

また、即時性を考慮するとCKD診療において重要な蛋白尿やeGFRの経時的な推移をかかりつけ医にもわかりやすく可視化し、背景病態と対応する個別最適化治療を提供できるようにするための支援システムが求められます。

この“地域で腎臓医療の質を担保する流れ”を戦略的に進めるため、沖縄県慢性腎臓病対策協議会（<https://www.pref.okinawa.lg.jp/iryokenko/kenko/1028812/1037370.html>）が設置され（会長 古波蔵健太郎、副会長 砂川博司）、透析患者減少を目標に沖縄県慢性腎臓病対策協議会版ロジックモデルが策定されています。

沖縄県慢性腎臓病対策協議会
<https://www.pref.okinawa.lg.jp/iryokenko/kenko/1028812/1037370.html>



沖縄県CKD対策：ロジックモデルを進める これからの取り組み

A (最終アウトカム) → B (中間アウトカム) → C (個別施策) を右から逆算 (バックキャスト) して設計・実装・改善



PDCA: Plan (A-Cの整合性) → Do (施策C) → Check (A-Cのインパクト) → Act (改善・拡大)

このロジックモデルでは、取組 (C:普及啓発・食環境整備、健診受診率や保健指導の質向上、尿蛋白・クレアチニン等の検査実施、透析予防指導管理、研修・人材育成、多職種連携、災害時支援体制) を、中間アウトカム (B:CKD認知、減塩や野菜摂取、尿蛋白有所見・血圧・HbA1c・eGFR など増悪因子の改善、最適化された治療の継続、災害時も透析医療が受けられる状態) につなぎ、最終的に分野アウトカム (A:CKD 発症予防、重症化予防、新規透析導入の抑制、腎不全死亡率の低下) を目指すロジカルアプローチが取り入れられています (図1)。

沖縄県は幸い、ちゅらまーみ腎プロジェクトや南城市、那覇市での取り組みが既に先行して行われ透析患者減少につながりつつあり、宮古や石垣でも同様な取り組みが始まっています。

今後、このような好事例を全県に広げていくためにおきなわ津梁ネットワークを用いたデータ利活用やパーソナルヘルスレコード (PHR) との連携などデジタル医療基盤をロジックモデルに組み込み、県全体で“慢性腎臓病診療の質”の底上げを加速できるよう取り組んでいきたいと考えています。

医師会会員の皆様におかれましてもどうぞご協力の程よろしくお願ひいたします。

